



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL https://www.candea1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小澤口 信行 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	3,381	5.2	92	43.2	89	38.2	36	89.4
2024年9月期第1四半期	3,214	6.3	64	△49.7	64	△47.2	19	△68.2

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 30百万円(57.9%) 2024年9月期第1四半期 19百万円(△68.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	3.91	3.90
2024年9月期第1四半期	2.07	2.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	5,903	2,792	47.3
2024年9月期	6,134	2,799	45.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 2,792百万円 2024年9月期 2,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,900	5.1	410	14.1	405	15.6	170	23.2
								18.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	10,734,200株	2024年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	1,507,300株	2024年9月期	1,507,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	9,226,900株	2024年9月期1Q	9,205,100株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境の改善やインバウンド需要の増加、設備投資の持ち直しの動きのもとで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安進行やエネルギー・原材料価格の高騰だけでなく、人件費の増加などの影響も受け、継続的に物価は上昇しており、中小企業を中心に多くの企業ではコスト上昇の伸びに価格転嫁が追い付いておらず、厳しい経営環境に直面しております。また、家計においては、物価上昇に起因する節約志向の影響で消費者マインドの改善には足踏みが見られ、先行き不透明な状況が続いております。加えて、世界経済におきましては、米国における高い金利水準の継続や新政権による政策動向、中東やロシア・ウクライナ情勢の懸念など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

建設業界としては、建設資材価格の高止まりや労務費の上昇、時間外労働の上限規制への対応課題に加えて、職人や現場監督といった建設現場の人手不足も大きな課題となっており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、実質賃金の低下や住宅価格の上昇により、住宅需要が低迷しており、国土交通省発表による2024年1月～2024年12月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比93.8%、分譲マンションが前年同期比94.9%、住宅市場全体としては前年同期比96.6%と減少いたしました。商環境に関しましては、物価高騰により個人消費に停滞感はあるものの、インバウンド需要の好調などにより総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながらサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価の上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは採用活動の強化や協力業者網の充実を図り労働力確保に努めたことにより、着実に市場の需要を取り込み、第1四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を更新いたしました。また、人的投資やシステム投資などの成長投資を実行したことで販管費は増加いたしました。売上高の増加により各段階利益は伸長いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,381,025千円（前年同期比105.2%）、営業利益は92,153千円（前年同期比143.2%）、経常利益は89,487千円（前年同期比138.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36,057千円（前年同期比189.4%）となりました。なお、当社グループでは過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に48,055千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は137,543千円（前年同期比121.9%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は84,113千円（前年同期比125.4%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

①リペアサービス

当第1四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は1,149,761千円（前年同期比100.4%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、6～9ヶ月前の時期の新設住宅着工戸数（主に住宅引渡し直前に提供するサービスであり、戸建住宅の着工から竣工までの平均期間を考慮）が減少している影響を受け、前年同期比で受注件数は微減したものの、受注単価が上昇したため、894,920千円（前年同期比99.7%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、生産性が上昇したことなどにより、254,840千円（前年同期比102.8%）となりました。

②住環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は1,023,800千円（前年同期比108.9%）となりました。

定期点検の売上高は、契約数・実施件数の増加により、400,732千円（前年同期比112.0%）となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、需要を取り込んだ検査の好調により、549,498千円（前年同期比106.4%）と伸長いたしました。リコール対応の売上高は、73,569千円（前年同期比111.0%）となりまし

た。

③商環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は1,034,225千円（前年同期比106.4%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境市場の需要堅調による店舗・商業施設、医療施設、オフィスなどの内装工事案件の増加により、増収となりました。

④商材販売

当第1四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は173,238千円（前年同期比110.1%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は5,903,469千円となり、前連結会計年度末に比べ230,792千円の減少となりました。

流動資産は3,534,582千円となり、前連結会計年度末に比べ141,372千円の減少となりました。これは、現金及び預金が126,064千円減少したこと、受取手形及び売掛金が49,219千円減少したことなどによります。

固定資産は2,368,886千円となり、前連結会計年度末に比べ89,420千円の減少となりました。これは、主になのれんが48,055千円減少したこと、繰延税金資産が31,587千円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,110,690千円となり、前連結会計年度末に比べ223,952千円の減少となりました。

流動負債は2,765,090千円となり、前連結会計年度末に比べ193,952千円の減少となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が124,166千円減少したこと、未払法人税等が127,302千円減少したこと、賞与引当金が68,919千円減少したことなどによります。

固定負債は345,600千円となり、前連結会計年度末に比べ30,000千円の減少となりました。これは、長期借入金が30,000千円減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,792,778千円となり、前連結会計年度末に比べ6,839千円の減少となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が5,989千円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は47.3%（前連結会計年度末比1.6ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,616,316	1,490,252
受取手形及び売掛金	1,744,684	1,695,464
商品及び製品	135,977	148,064
原材料及び貯蔵品	30,221	34,037
その他	152,849	170,802
貸倒引当金	△4,093	△4,038
流動資産合計	3,675,954	3,534,582
固定資産		
有形固定資産	54,586	54,118
無形固定資産		
のれん	1,922,237	1,874,181
その他	86,306	79,470
無形固定資産合計	2,008,543	1,953,651
投資その他の資産		
繰延税金資産	117,934	86,346
その他	279,795	276,921
貸倒引当金	△2,552	△2,151
投資その他の資産合計	395,176	361,116
固定資産合計	2,458,306	2,368,886
資産合計	6,134,261	5,903,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	390,582	407,230
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	629,184	505,018
未払法人税等	149,967	22,665
賞与引当金	190,803	121,884
未払費用	546,086	581,886
その他	552,419	626,406
流動負債合計	2,959,043	2,765,090
固定負債		
長期借入金	370,000	340,000
その他	5,600	5,600
固定負債合計	375,600	345,600
負債合計	3,334,643	3,110,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,282,655	2,282,655
利益剰余金	710,503	709,653
自己株式	△762,693	△762,693
株主資本合計	2,792,252	2,791,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,365	1,376
その他の包括利益累計額合計	7,365	1,376
純資産合計	2,799,618	2,792,778
負債純資産合計	6,134,261	5,903,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,214,831	3,381,025
売上原価	2,069,510	2,163,294
売上総利益	1,145,320	1,217,731
販売費及び一般管理費	1,080,958	1,125,577
営業利益	64,362	92,153
営業外収益		
受取利息	13	19
受取保険金	2,890	-
違約金収入	-	552
その他	388	1,170
営業外収益合計	3,292	1,741
営業外費用		
支払利息	2,893	3,884
固定資産除却損	0	474
その他	-	49
営業外費用合計	2,893	4,408
経常利益	64,761	89,487
税金等調整前四半期純利益	64,761	89,487
法人税、住民税及び事業税	27,996	19,199
法人税等調整額	17,727	34,230
法人税等合計	45,724	53,429
四半期純利益	19,037	36,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,037	36,057

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	19,037	36,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△5,989
その他の包括利益合計	-	△5,989
四半期包括利益	19,037	30,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,037	30,067
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	15,667千円	15,175千円
のれんの償却額	48,055 〃	48,055 〃

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	1,145,147
住環境向け建築サービス	940,467
商環境向け建築サービス	971,925
商材販売	157,291
顧客との契約から生じる収益	3,214,831
その他の収益	—
外部顧客への売上高	3,214,831

当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	1,149,761
住環境向け建築サービス	1,023,800
商環境向け建築サービス	1,034,225
商材販売	173,238
顧客との契約から生じる収益	3,381,025
その他の収益	—
外部顧客への売上高	3,381,025